



報道関係者各位
プレスリリース

2014年8月28日
株式会社はくばく

インド国内最大手の私立病院チェーン、フォルティス病院で 糖尿病患者に対し大麦製品の効果測定する臨床試験開始

精麦加工の最大手である株式会社はくばく(本社:山梨県南巨摩郡、代表取締役社長:長澤 重俊)はインドの糖尿病患者に対し当社の大麦製品の効果を測定する臨床試験をインド国内最大手の私立病院チェーンであるフォルティス病院で2014年8月27日より開始いたしました。この臨床試験はⅡ型糖尿病患者が1日90gの大麦を6ヶ月間毎日摂取し、患者の体重や血圧、血糖値、コレステロール値などを定期的に測定し、当社の日本産大麦がインド人の糖尿病に与える影響を検証するものです。

本試験に当たっては、今年4月にデリーで発足させた『食から健康を考える日印専門家会議』の発起人の一人であるアマタブ・パルティ医師(フォルティス記念研究所 生活習慣病内科)を中心に準備を進めており、この度フォルティス記念研究所倫理委員会に於いて正式に承認を得ることができました。試験は、下記の条件を満たすインド人患者25名を対象に6ヶ月間行います。

◆ 臨床試験対象者(以下の条件を満たす方)

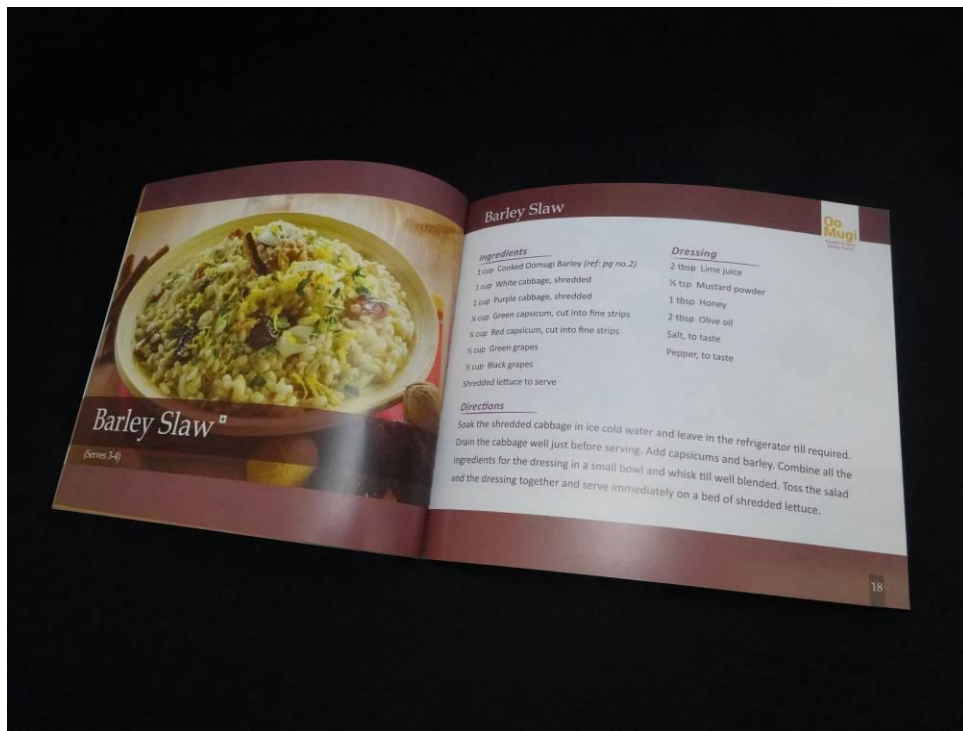
- 成人のⅡ型糖尿病患者
- 高血圧
- 脂質異常症
- BMI 25以上

対象者は1日90gの大麦(β -グルカン3.6g以上)を毎日摂取し、11項目について週1回、6ヶ月間検査します。

対象者には当社OoMugi30g入りの商品と、大麦を使ったインド料理のレシピ集(全35種)を提供してインド人対象者が日常の食生活の中で無理なく大麦を摂取できるよう工夫をしております。



30g 入りインド向け大麦商品「OoMugi」



大麦を使ったインド料理のレシピ集

【フォルティス病院について】

第一三共株式会社が2008年に買収した製薬大手ランバクシー・ラボラトリーズの創業者一族であるマルビンダル・シン、シビンダル・シン兄弟が経営しているインド国内最大手の医療チェーン。2001年にデリーで創業し、インドのほかシンガポール、ドバイ、モーリシャス、スリランカで運営する医療施設は65施設にのぼりベッド数は10,000床を超えます。

フォルティスは地方都市を中心に低価格の医療を提供する新ブランドの医療チェーンを展開する計画を発表しており、人口50万人規模の都市を中心に今後3年間で25の医療施設を建設するとしています。

【会社概要】

社名 : 株式会社はくばく

所在地 : 〒400-0598 山梨県南巨摩郡富士川町最勝寺 1351

代表 : 代表取締役社長 長澤 重俊

設立 : 昭和16年4月15日

資本金 : 98,000,000円

事業内容: 食品製造および販売

URL : <http://www.hakubaku.co.jp>